



自治連だより

第29号



令和二年期初に当たり ご挨拶申し上げます

鳥取市自治連合会
会長 南部 敏

各地区会長、町内会（区）長、及び会員の皆様におかれましては、自治連合会活動にご協力ご理解賜り、又地域の活性化にご尽力いただき誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。

さて、今年はず支の子年に当たり、あらゆることが順調に大きく飛躍し幸せな一年であることを願っていました。

ところが予想もなかった新型コロナウイルスが発生、世界中大混乱となり多くの感染者、死者を出し今もその勢いは止まっています。一日も早い終息を祈っています。

地方創生が発せられ今年で六年目を迎えますが、東京一極集中は依然と変わらず、地方では人口減少、少子高齢化、核家族化の進展、景況不振等々明るい材料に乏しく、又想定外の自然災害、殺人事件、交通事故等、ここ近年当たりまえのように発生し、社会のありようが大きく変化してきた感があります。

このような時こそもう一度原点を見つめなおし、困った時はお互いさまの精神で、「助け」「助け合う」共助の心が肝要ではないかと思えます。

行政とも更に相互理解を深め、若者が魅力を感じ、未来に明るい鳥取市実現に向け協力をしていきたいと考えています。

最後に各町内会のご発展と、会員皆様のご健康ご多幸ご繁栄を祈念し、鳥取市自治連合会運営に一層のご協力賜りますようお願い申し上げます。

湖南地区

湖南地区のまちづくり 協議会活動について

湖南地区自治会

森本孝行

湖南地区は、昭和四十三年吉岡・大郷公民館が統合され湖南公民館が設立されましたが、区長会をはじめ各種団体活動は、両地区別々に活動をしていました。

平成十一年両地区合同で湖南地区地域づくり協議会を結成し「湖南の一本化」を目指し協議を重ね、平成十八年両地区の交流と親睦をより一層深めることを目的として湖南まつり実行委員会を組織し「湖南の夏祭り」を実施してまいりました。平成二十一年に湖南地区まちづくり協議会が発足、平成二十二年地域コミュニティ計画を策定、まつり委員会をまちづくり協議会に編入し組織の充実を図り、湖南夏まつりを毎年実施し両地区の親睦と交流を深めるとともに協議を重ね、平成二十四年に区長会を統合、平成二十八年には、区長会、まち



湖南の夏まつり

づくり協議会、各種活動団体を包括して「湖南地区自治会」を発足させ長年の懸案であった「湖南の一本化」を達成しました。湖南地区まちづくり協議会は、八項目の基本目標を基に湖南ま

つり・歴史文化・学校安全・人に優しい・人を育てる・賑わい・安全安心・生活環境・若者の九つの常設委員会を設置し、十六の実施計画に基づいて各委員会が活動を推進しています。



吉岡将監居城跡・箕上山のコース整備と制覇

湖南まつり委員会
は、賑わいのある地域づくりを目標として毎年湖南の夏まつり事業を続け今年で十四回目となりました(写真)

歴史文化委員会は、歴史文化を活かす地域づくりを目標に地区オリエンテーリングを実施し湖南地区の歴史探求(写真・吉岡将監居城跡・箕上山のコース整備と制覇)

学校安全委員会、安全安心委員会は、安全安心地域づくりを目標に地区自主防災会と連携した防災訓練、湖南学園と連携し登下校時の見守り、そのほかの委員会もそれぞれの委員会の目標とする地域づくりに沿って活動しています。

今年度は、新型コロナウイルス騒ぎで各委員会の活動にも影響し今後の諸活動に制限を受けると思っています。

又、まちづくり協議会が発足して十年が経過し「まちづくり協議会のあり方」「地区公民館のあり方」が問われています。

この様な状況の中、当協議会では、今までの活動の検証と今後の指針等を目的に、アンケート委員会を立ち上げました。地区住民を対象とするアンケートを実施することを定例総会で諮り、本年度の重点活動として計画し準備中です。

気高地区

伝統文化を守り
安全な地域づくり
酒津地区 区長 西尾雅彦



放水訓練

トンドの飾りは、毎年十月より、土、日、祝などを利用し、小学生、保護者、区役員の男子が集まり、飾りを編んでいきます。

酒津地区は、一地区一集落で形成されており、近年は少子・高齢化が進み空き家も増え、人口も減少しています。当地区は漁師村で一時期二百件以上の軒数もあり、地区内に幼稚園、小学校もあり、昭和の大合併で当時の気高町に編入されました。地元特産として、塩サバ、焼サバなどを製造して、鳥取市中心に多くの皆様に食べていただいております。地区の活動は、自治会を中心に公民館、ふれまち協議会等の組織が年間行事予定をたてます。正月あけの一月十五日に近い土曜、日曜にトンドを実施します。トンドは江戸時代後期より継続し、国の重要無形民俗文化財に平成十九年三月指定されました。

四月二十九日（祝日）に春祭りを実施。高校生を中心に麒麟獅子を舞い、地区内各家を清めて回ります。



防災避難訓練

近年は、少子化の為、社会人の人達の協力をいただき実施しています。漁港の施設の一部を国、県などと話し合い芝広場を整備（地区負担）しました。芝広場では盆に地区あげての納涼祭を実施、住民の協力で舞台を設置し、打ち上げ花火・歌や踊りなどで盛り上げています。十一月末には、地区住民の意識確認の為、防災避難訓練を実施しています。区民全対象の訓練を毎年実施し、同時に消火・放水訓練も行います。又、まちづくり協議会女性委員有志にお願いし、前日より準備していただき、大鍋とガスかまどを使って豚汁の炊き出し訓練も行います。又福祉関連事業として、高齢者や青少年の見守り活動を展開しています。年に二回は他地区に研修をかねて、日帰り旅行も実施しています。毎月第四月曜日に「ミニデイ」を開催し、血圧測定・健康体操・茶話会・ゲームなどで楽しんでいきます。今後も住み良い、安全な地域をつくるために、各組織と連携し、コミュニティの活性化に努めてまいりたいと思います。

倉田地区

倉田地区まちづくり協議会
協議会の活動報告
倉田地区まちづくり協議会事務局
竹内英則



6月そうめん流し

からも多くの作品の出品が有り、みんなの文化祭が定着しております。又、倉田地区では多くの郷土芸能が伝承されており、積極的な参加促進

倉田地区まちづくり協議会では昭和四十三年に結成された倉田地区自治会を母体に、総務部（区長会）・福祉部（社会福祉協議会）・保安部（消防団・交通安全協会・他）・同教部（同和教育推進協議会）・体育部（体育会）・公民館部（倉田地区公民館）の六つの部で活動を進めております。特に教育面では、全戸組織の教育後援会・子ども見守り隊ボランティア活動・公民館主催の学校週五日制に伴う行事を実施しています。地域の各種行事に積極的な参加を促し、行事を通して、地域の伝承文化や人と人の繋がりを大切に世代間交流を図るなど、次世代を担う子どもたちの育成に努めています。又、文化面では、毎年倉田地区文化祭を開催して、地域住民の参加とともに保育園・小学校・中学校からも多くの作品の出品が有り、みんなの文化祭が定着しております。又、倉田地区では多くの郷土芸能が伝承されており、積極的な参加促進



12月餅つき大会

や、文化財の保存の意識の向上等の文化振興がなされています。さらに安心安全対策として交通安全活動・消防団活動・不法投棄監視活動と自主防災活動です。特に近年大雨による避難指示が発令される度に、多くの方が公民館等に避難されており。その都度、消防団・自主防災で対応して頂いて、避難された方に安心して頂いております。同教部では、毎年七月の一ヶ月間を倉田地区部落解放月間として今年で四十六回を迎え、各部落での小地域対話集会、地区全体の倉田地区集会を開催し、研修を続けております。体育部では鳥取市の市民体育祭参加を目標に各種競技を開催し、多数の方が参加・応援をしております。最後に公民館部の紹介です。生涯学習の場であり、地域コミュニティの拠点として全ての事業に関わっております。四月の「歩け歩け健康づくり」六月の「そうめん流し」「グラウンドゴルフ大会」十月の「倉田地区文化祭」十一月の「地域の仲間づくり」十二月の「餅つき大会」三月の「しいたけ植菌教室」等が代表的な行事です。これからも地域発展の為、活動を続けてまいります。

例年なら色々な事業、行事に追われて多忙な日々を送っているはずですが、今年は、年初めから新型コロナウイルスの關係で諸会合、事業も中止となり先の見通しも立たないまま半年が過ぎようとしています。

他地区の自治会活動の状況を聞いて見ますと、自治会総会を一月にする地区と四月にする地区とがあるようですが、津ノ井地区は一月の二十日前後の日曜日に予定しています。年間の大きな行事としては、三月の春分の日に地区慰霊祭、四月二十九日（現在昭和の日）敬老会、七月下旬納涼祭、九月に地区と小学校合同運動会、十一月三日の頃、文化祭と一連の流れの中に他の事業等を組み入れながら年間事業をこなしています。

他地区と違うのは津ノ井小学校が百二十数年間、遠足で登り続けている空山があります。この山の山頂より少し下の所に広場があり、その広場の草刈りを遠足前（四月中旬）に小学校PTAが行い、六月中旬



空山広場の草刈り作業

和（輪）を大切に

津ノ井地区

津ノ井地区自治会

会長 福田正美



と十月頃の二回地区役員を中心に行います。参加者も六十人位あり、早朝から一〜二時間かけて涼しいうちに草刈り作業を行い、地域の古里の山として皆で守って来ています。そして六月の草刈り作業の日の夕方には、各町区の区長さん、各種団体の会長さんと半年の活動報告と要望などを聞く研修会をおこなっています。そのあと懇親会の流れとなっています。人と人とのつながりを深めていくのに本当に良い会だと思っています。しかし今年度はコロナの影響で中止となってしまいました。先の見えない中、生活体系は変わって行くとは思いますが、人と人とのつながり、絆は守って行かなければならないと思っています。



鳥取市自治連合会事務局が移転しました

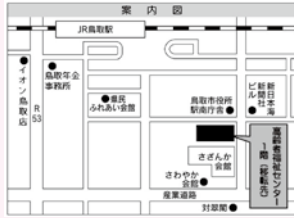
【移転後所在地】

〒680-0845 鳥取市富安2丁目104-1
(鳥取市高齢者福祉センター内)

【移転後連絡先】

(電話番号・FAX番号ともに変更ありません)

TEL(0857)20-0100
FAX(0857)20-0141



二 面影地区の紹介
当地区は万葉集に詠われた「面影山」(標高百m)を中心に、市内でも有数の住宅地となった地域です。国府町から見る面影山はちょうど「ひよっこりひょうたん島」のような愛らしい形をしており、初心者の方でもゆっくりと

一 新型コロナウイルスの脅威から
昨年は新元号の制定等の事業に沸き、東京オリンピック・パラリンピックに向け期待と高揚感で新年を迎えた中で行われた自治会総会。多くの事業が承認されました。

それが、この「新型コロナウイルス」の感染拡大とともに事業が立ち消え、さらに学校の長期休校や店舗等の自粛要請と、四面楚歌の状況に陥り、当地区十五町内の町内会長・区長方も、このままでは地域の連携が危うくなるとの意見が出るまでになりました。さて、どうするのか。

そこで、この五月に自治会傘下の各種団体の総意で住民の皆様へ「ウイルス対策の徹底」を呼びかけるとともに高齢者各位への気配りも重要との意見をまとめ、団体活動等についての現状を回覧方式で住民へPRすることとしました。

ふるさと面影

面影地区

面影地区自治会

会長 稲田宗万

登ることができることから住民に親しまれている山です。

登頂ルート中には和歌を記した白い「歌碑」が迎え、「文学の散歩道」とも呼ばれています。山下の面影小学校校舎入り口には、大正・昭和の作家「尾崎翠」の歌碑が児童を迎えてくれています。

皆様もぜひ一度この山を訪ねてみてください。

三 これからの自治会活動について
この度の感染症対応を通じて、私たちの自宅での過ごし方や仕事のやり方の変化、さらに、町内会や自治会活動についても漫然と取り組んできた事業等について、少しずつではありますが微妙な変化があります。

「この困難な時期をどう乗り切るか。」「そのためにはどうすべきか。」「との意識を区長・町内会長をはじめ各種団体の皆さまが考え始めたことは素晴らしいことと考えます。

行政と市民の橋渡し役も重要なものですが、今後は、中高校生をはじめとする若い世代の意見を汲み取る努力を重ねていこうと思います。

持続可能な自治会活動を目指して。



面影防災訓練



面影山ウオーク

千代水地区

千代水地区のまちづくり活動について

千代水地区自治会

会長 西尾志郎

千代水地区まちづくり協議会は平成二十二年度に策定した千代水地区コミュニティ計画に基づき、自助、共助の精神のもと五ヶ年の実施計画を策定して、毎年事業を見直すローリング方式を取り入れ、多くの住民の皆様の協力をいただきながら現在まで事業実施しています。実施にあたっては、「総務広報」「防災防犯」「環境美化」「健康福祉」「歴史文化」の五部会を立ち上げ、部会長は各町区長から選出し、部会委員には各種団体の長、各町内会の役員すべてがどこかの部会に所属するなど、多くの住民が参加しやすい様努力しています。各部会の主な活動としては、「総務広報」は多くの地区民が参加するふれあい祭りの企画・運営、広報活動としてまち協便りの発行を行っています。



縄ない競争

ています。また「環境美化」では、ポイ捨て一掃大作戦と銘打って千代水地区の清掃、集会所や公民館に花を飾る庭先花いっぱい運動の展開等行っています。さらに「健康福祉」では、毎年九月に千代水カップ体育の祭典という運動会を開催しており、校区が三つに分かれている地区なのでこの運動会を楽しみにしている人が多いです。この運動会の種目の中で縄ない競争は、お年寄りの方が子どもたちに縄のない方を教える様はとても微笑ましく好評です。最後に「歴史文化」では、地区の名所旧跡等を歩いて探索したり、地区に残る安長麒麟獅子舞や千代水荒神神楽等の発表交流会の実施や、しゃんしゃん祭の傘踊り参加等、地区の文化の保存、継承に努めています。以上、五部会で活動しています。他地区と同様、事業のマンネリ化、参加者の減少傾向もあり、いろいろ工夫しながら少しずつ改革しなければならぬと思っています。特に地区は校区が三つに分かれている為の苦勞等がありますが、計画の目標である「人とひとがつながり夢のある住みよいまち」ちよみになるよう地域コミュニティの活性化に努めてまいりたいと思っています。



災害時での炊き出し訓練

鳥取県自治会連合会の動き

令和元年度

◇中四国自治会連絡協議会

二月十二日、香川県丸亀市において、各県連の代表者（総勢百九十三名）が集い、鳥取県自治会連合会からは十三名が参加した。

岡山・山口・香川の三県を代表する自治会（町内会）連合会がそれぞれ特色ある活動事例を紹介し合い、今後の自治会活動の参考とすべく、意見交換を行った。

◇令和新时代とつとり元気フェス

十二月二十二日、倉吉未来中心アトリウムにて開催。県内の様々な地域づくり活動の紹介や若者をはじめとする県民の地域愛の醸成をテーマに「中部ハイスクールフォーラム」や、「共感の輪を広げる活動団体交流会」が開催され熱心に討議が行われた。

令和二年度

◇令和元年度監査会

（四月三日、鳥取市）

◇第一回正副会長会

（四月二十二日、倉吉市役所）開催中止

◇令和二年度総会及び研修会

（五月二十九日、米子市立図書館）
※新型コロナウイルス感染症防止の為、書面表決となった。

◎総会

・令和元年度事業報告及び収支決算報告、監査報告

・令和二年度事業計画（案）及び収支予算（案）

・役員選出

- | | | |
|-----|-------|-------|
| 会 長 | 高野 和男 | （米子市） |
| 副会長 | 笠見 猛 | （倉吉市） |
| 副会長 | 南部 敏 | （鳥取市） |
| 理事 | 大櫃 興紀 | （米子市） |
| 理事 | 上田 康則 | （米子市） |
| 理事 | 田邊 忠雄 | （米子市） |
| 理事 | 奥田 登 | （米子市） |
| 理事 | 福田 健 | （倉吉市） |
| 理事 | 齋木 英宏 | （倉吉市） |
| 理事 | 笠原 宣幸 | （倉吉市） |
| 理事 | 土橋 周美 | （鳥取市） |
| 理事 | 田中 雅勝 | （鳥取市） |
| 理事 | 新 潤一 | （鳥取市） |
| 理事 | 福田 正美 | （鳥取市） |
| 理事 | 中村 克彦 | （鳥取市） |
| 理事 | 新見 博士 | （米子市） |
| 監事 | 足芝 通秋 | （米子市） |
- 以上、原案通り承認されました。

後記

新型コロナウイルスの災禍は世界中に拡散し、取り巻く環境とコミュニティ活動は分断と自粛モード。一色となり終息は見えませんが、早く元に戻って欲しい、当たり前を取り戻したい、との願いはあります。本当に戻りたい「元」って、「当たり前」って何だったのか自問したい。

地域の「現実・現場・現物」を知る住民こそが地域創造の主役です。

（広報委員長 田中雅勝）